

◆編集・発行

茨城県 茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和4年1月末現在
男 15,725人
女 15,712人
総人口 31,437人
世帯数 13,243世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合

防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.115 カキドオシ
(シソ目 シソ科)

学名 *Glechoma hederacea* L.
subsp. *grandis* (A.Gray) H.Hara

写真・文 安 昌美

▼カキドオシとは
カキドオシは、シソ科のカキドオシ属に含まれる多年草です。茨城町では山野から水田地帯にかけて、農道などの道ばたによく見られます。4月から5月に花を咲かせますので、意識してみると、地を這うようにつるが伸び、垣根を通り越して他所まで広がっていくことから「垣通し（カキドオシ）」の名がついたそうです。国内では北海道から沖縄まで、国外では台湾、中国東部に分布するとされています。県内でもさまざまな場所で見られることから、あまり注目してもらえませんが

▼カキドオシの繁殖戦略
花は下唇が3裂し、中央の裂片が大きく、斑点があります。奥には毛が

あり、おしべは4本です。虫に目立つように工夫されているようです。株によって小さな花をつける雌株と大きい花をつける両性株があるそうです。写真は両性株のものでしよう。

カキドオシ属はユーラシアの温帯に4種知られています。この属はどこで生まれ、どのようにして、日本にまで広がってきたのでしょうか。

カキドオシは虫媒花とされ、種子による繁殖（有性生殖）と、つるを伸ばして繁殖（無性生殖）との二種類の作戦で、生育地を拡大しているようです。

種子は重力散布（種が重力によって近くに落下する自然散布）とされていますので、簡単に遠くまで運ばれることはないでしょう。日本がまだ大

陸の一部であった時代に、垣根を通すほどの勢いのままに、どんどんつるを伸ばしてきたのでしょうか。その時、虫なども一緒に来たのでしょうか。知りたいことの多い植物です。

▼カキドオシの利用
植物の葉、茎、根などや、動物のなかで、薬効があるとされる一部分を加工したものを「生薬」といいます。カキドオシは、「連銭草（レンセンソウ）」という生薬として紹介されています。小銭のように丸い葉が並んでつく様子からつけられた名前です。採取された茎や葉を水洗いし、束ねて陰干しにすることで作られ、子どもの疳の虫に効くと伝えられています。

ちびっ子アート

大戸幼稚園



さくら組



「みんなともだち うれしいな」